

研究会開催報告

極微構造反応若手の会 第3回勉強会

極微構造反応若手の会第3回勉強会が2006年10月14日九州大学箱崎キャンパス21世紀交流プラザで開催された。今回はA02班の課題である固液界面反応計測に関連するテーマとして「ポリマーブラシ」に焦点を絞り、実質的な討論が行える勉強会として企画・実施した。講演者には班員の中から京都大学青木裕之先生、さらに本特定領域の班員以外から九州工業大学毛利恵美子先生と九州大学小林元康先生にご参加いただき、それぞれ御自身の最新の研究成果についてご紹介いただくとともに、関連の研究展開について解説いただいた。青木裕之先生には固体基板上に調製した比較的分布の揃った高分子鎖の構造とダイナミクス、また、今後の展望についてご講演いただいた。毛利恵美子先生には、表面をポリメタクリル酸メチルで修飾したシリカ微粒子の気水界面での挙動と応用の可能性を、また、小林元康先生には固体基板上への水溶性高分子ブラシの合成法と、得られた表面のマクロ・ナノ摩擦現象についてご講演いただいた。中身の濃い討論を引き出していただいた3名の先生方には改めて深く御礼申し上げる。

今回の若手の会勉強会には19名の方(うち4名は学生)にご参加いただいた。参加者は北大電子科学研究所・東工大資源化学研究所・名工大工学研究科・京都工繊大繊維学部・京大工学研究科・阪大工学研究科・奈良先端大物質創成科学研究科・阪市大工学研究科・九工大工学部・近畿大産業理工学部・九州大学先導科学研究所および工学研究院と日本全国多岐にわたった。所属の班もA02班に限らず他班からもお集まりいただき領域を横断する勉強会になった。この勉強会をきっかけに固液界面反応に関連する若手研究者の交流がいっそう深まり、関連分野での研究展開が促進されることを期待する。

